

ナイスケアだより

第121号
令和4年6月発行

次期介護保険法改正を見据えた議論が国ではすでに始まっています。現在の財務省の提案として以下の5つのポイントがあげられています。

- ① 利用者2割負担の対象範囲の拡大
- ② ケアプランの有料化
- ③ 軽度者サービスの地域支援事業への移行
- ④ 介護保険施設の多床室の室料負担の見直し
- ⑤ 経営の大規模化・協働化

どれも厳しい内容で、コロナ禍による財政赤字を取り戻しにかかっている印象があります。特に『利用者2割負担の対象範囲の拡大』は対象となる方にとって深刻な問題となります。

私の個人的な感想としては、『軽度者サービスの地域支援事業への移行』がもっとも厳しい改正となると思われます。軽度者の範囲を要介護1・2まで拡大し、訪問介護と通所介護のサービスを介護保険の枠から外して市区町村サービスに移行することです。市区町村サービスは単価が安いのでサービス事業者の参入が困難となり、サービスの質の低下や利用が難しくなるケースが予想されます。

社会保障給付費は厳しい現状と思われますが、年金や医療費に比べればその規模は小さく全体の10%ほどです。その部分を改正したとしても財政の健全化につながるとは思われません。見直しは必要なことですが必要な事業やサービスについては継続してほしいです。議論は始まったばかりですが今後の動向を見守っていきたいです。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～紫陽花～

紫陽花の時期になってきました。『ホンアジサイ』と『ガクアジサイ』がありますが、『ガクアジサイ』が日本原産の古来種です。万葉の時代に記録がある程歴史が古いそうです。紫陽花は『集真藍(あずさあい)』つまり『藍色が集まる』が語源だと言う説があります。

紫陽花の花言葉ですが、『移り気』や『無常』、小さな花が集まって咲いているように見えることから『和気あいあい』『家族』『団欒』などがあるようですが、色によって違うようです。

- 青 … 冷淡、辛抱強い愛
- 白 … 寛容
- ピンク … 元気な女性、強い愛
- 緑 … ひたむきな愛、辛抱強い愛



紫陽花は土や水の酸度(pH)が酸性寄りだと青色の花が、中性～アルカリ性寄りだと紫色の花が、アルカリ性だとピンク色に近い花が咲くそうです。

梅雨の時期になりますが、花言葉など楽しんでみるのもいかがでしょうか。

萩原 宏美